

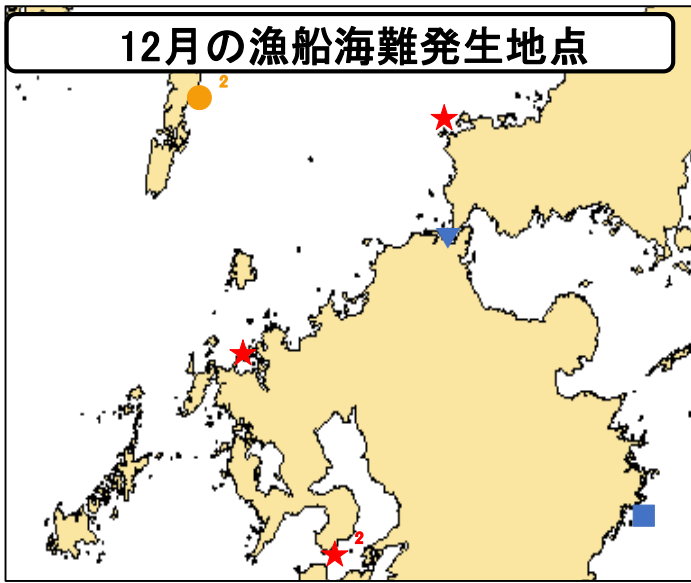
令和4年12月発生  
七管内漁船海難 計8隻

令和4年12月累計 80隻 (前年92隻)  
漁船海難発生隻数は前年に比べ **12隻減少**

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	4
乗揚	●	2
転覆	▼	1
運航不能 (走錨)	■	1
合計 8隻 (昨年 8隻) 死亡、行方不明者: 0名		

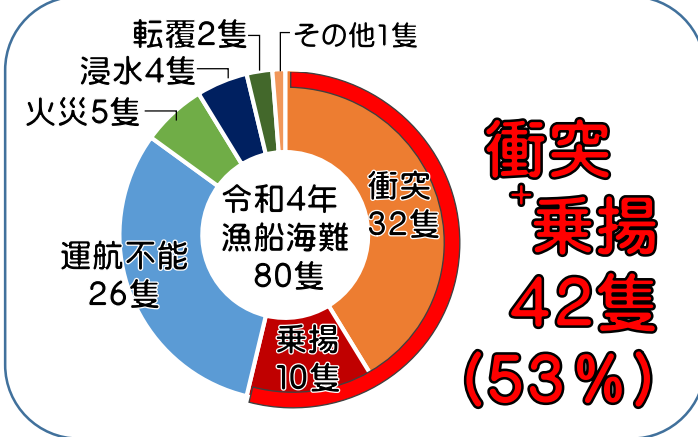
	県別内訳	
	12月	令和4年累計
山口県	1	11(10)
福岡県	1	20(16)
佐賀県	0	8(4)
長崎県	5	32(46)
大分県	1	9(16)
合計	8隻	80隻 (92隻) ( )は昨年同月

累計死亡・行方不明者数  
6名 (令和4年12月末日現在)



## 令和4年漁船海難 統計開始以来過去最少も やっぱり多い、衝突・乗揚！

令和4年の第七管区海上保安本部管内における漁船海難は **80隻発生 (速報値)**、前年と比べて **12隻減少**し、統計を取り始めて以来、**最も少ない隻数**となりました。海難種類別では、衝突32隻、乗揚10隻、運航不能26隻、火災5隻、浸水4隻、転覆2隻、その他1隻となっており、**衝突と乗揚海難で全体の半分以上 (42隻、53%)** を占めています。



令和4年の **衝突**の原因の約**80%**は「**見張り不十分**」  
 漁場に向かう時、レーダー・魚群探知機を見ている時、操業中、片付け中、帰港中、自動操舵使用中での、あなたのちょっとした油断が事故の元です。 **常時適切な見張りを徹底しましょう。**

令和4年の **乗揚**は「**自動操舵中の居眠り・体調不良時・漁具等の準備中**」等に発生



「**体調が悪い時の航行**」は事故のリスクを高めます。体調不良を感じたら、無理せず出港を控える、操船を交代する、船を速やかに安全な場所に移動させる等、リスクを最大限に抑えましょう。



**本年もご安全に！**よろしく願いいたします